

対馬釜山事務所だより

クエコリのようなモツソリ

(ウグイスのような声)



最優秀の朴スジンさんと朴ソジョンさん



ゲスト出演のダンスチーム「メリット」

暖かい日差し、ソア(良し)! そよ風、ソア! 町並みの緑、ソア!

この三拍子の揃った5月、若者がパッとほじけました。第2回日本歌謡大会で!

去年、この紙面を借りて第1回目を紹介しましたが、覚えていますか? 去年は6月の大雨の日にもかかわらず大会は成功裡に終わりましたが、今年の大会はお天気にも恵まれ、5月21日に開催されました。

午前のリハーサルに合わせて集まった参加者をぐるりと見渡すと、見た目中学生のような高校生から大学生、そして社会人までまさに様々でした。

さながら本番のようなりハーサルが始まりました。「マイク1のベースの声、上げてください」「照明はやや暗くしてください」など、結構本格的な注文。

午後の本番、真剣な雰囲気が漂います。当たり前ですよ。受賞者には対馬招待券がかかっているのですから・・・

エントリーナンバー1番から16番が終わるまで、舞台も観客席もわいわい大盛り上がりでした。

「頑張れ! 頑張れ! 優勝はあなたの物だよ!」「先輩! ファイト!!」

今年は観客席からの励ましの言葉が多かったのです。特に歌詞のミスや声が出ない参加者に対し観客のみんなが応援するその姿は、心の底からジワッと感動が湧きたちました。

とうとう結果発表!

今年の人気賞はセクシーなミニ浴衣(?)を着て大塚愛の「さくらんぼ」を歌った大学生の2人組。愛嬌たっぷりの声と踊り、歌う途中でキャンディをばらまいたりなどして、「超」可愛いかったです。

奨励賞の3チームはX-JAPANの「WEEK END」を歌った男子高校生のオクさん。喉の調子が激しく変化してしまうと言っていましたが、本番はロック調の迫力ある抜群の声でした。

次は中島美嘉の「雪の華」を歌った大学生チーム。4人でいいハーモニーを見せてくれました。

そして、CHEMISTRYの「It Takes Two」を歌った男子高校生の2人チーム。今年も韓国CHEMISTRYの誕生です。

優秀賞はBOAの「Listen To My Heart」をうたった2人組の大学生。

最優秀はCrystal kayの「Kiss」を歌った朴スジン、朴ソジョンの女子高校生です。

まさに「クエコリ(うぐいす)」のような「モツソリ(声)」の代表選手。高校生の声とは思えない音色と声量そして、ピブラート。すごい、すごい、すごいです。

受賞には阿部在釜山日本総領事と松村市長が、賞状とトロフィーそして賞品として対馬真珠を贈呈しました。

皆様、この夏、ちんぐ音楽祭を楽しみにしてください。このクエコリの群れが対馬デビューをします。



人気賞受賞の2人

対馬釜山事務所

きむ 金 きよんいる 京一、 しん 辛 うんぎょん 恩京